



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

「友達しか見ないから大丈夫」の盲点・・・

～ネットに潜む『デジタルタトゥー』の恐怖～

本校では、定期的に「人権の日」を設定して、身の回りの様々な問題について考える機会を持っています。今日は、各クラスで人権啓発動画「『誰か』のこと「じゃない。」インターネット編（@MOJchannel 法務省）を視聴し、ネットリテラシーについて考える時間を持ちました。

生徒のみなさんの中には、家族や友達との思い出をスマートフォンで撮影し、SNSに投稿している人もいるかもしれません。視聴した動画の主人公たちは、「鍵をかけているから」「どうせ友達しか見ないし」と、加工アプリで撮った軽いノリの写真をSNSに投稿してしまいました。しかし、その画像は何者かによって保存され、全く知らないアカウントで悪用され、最終的には「いじめ」のような形で拡散されてしまったのです。これは、決して「動画の中だけの他人事」ではありません。

⚠ 「鍵アカ（非公開）」を過信してはいけない

「鍵をかけているから、身内しか見ない」というのは大きな誤解です。仲の良い友達であっても、「面白いから」「悪気はなくて」と、スクリーンショットして別の人に送ってしまうことがあります。また、不正アクセスにより、非公開設定が無効化されたり、中身を覗かれたりする危険性があります。



視聴した動画内でも「一度ネットにアップロードされたデータを完全に消し去ることはできない」とありました。これを「デジタルタトゥー」と呼び、将来の進学や就職にまで悪影響を及ぼすことがあります。

💡 ネットトラブルを防ぐための「3つの約束」

ネットの被害者にも加害者にもならないために、以下の点について、ぜひご家庭でも話し合ってみてください。

① 玄関のドアに貼れない写真は、ネットにもあげない

「友達にしか見せない」ではなく、「世界中の人に見られても恥ずかしくない・困らないか」を基準にしてください。自分の家の玄関や、学校の掲示板に貼り出せないような写真は、ネット上にも絶対に載せてはいけません。

② 「スクショ（画面保存）」されたら終わり、と心得ること

投稿をあとから削除しても、誰かが「スクショ」を撮っていれば、それはデジタルデータとして永遠に残り、コントロールできなくなります。

③ 異変に気づいたら、すぐに大人（親・学校・専門機関）に相談する

動画の生徒たちは、自分たちではどうすることもできず、親に相談したことで「法務局」などの専門機関につながり、削除要請を行うことができました。もしトラブルに巻き込まれたり、怪しい投稿を見つけたら、一人で悩まず、一刻も早く信頼できる大人に相談してください。



【最後に：保護者の皆様へ】

子どもたちのスマートフォンの中は、大人の目が届きにくい「密室」になりがちです。「うちの子は大丈夫」と思わず、定期的にSNSの使い方について話し合う機会を設けていただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。また、石川県教育委員会「ネットチェックイしかわ」や青少年健全育成センター少年育成支援室「ネットパトロール」等と連携し、生徒個人が特定できるような書き込みやいじめ等につながる危険性をはらんだ書き込みについては、保護者と共有して指導し、情報モラル教育を徹底してまいります。